

横浜高等工業学校校歌



土井 晩翠 作歌

中田 章 作曲

$\text{♩} = 92$

1. きぼうの ひかり うらゝかの あけぼの
 ともに ひらかれ て しちじゅうよねんつ
 きーにひに さかえいやますよこはま
 のちはわがこうのたつーところ

1. 希望の光うららかな

曙ともに開かれて
 七十余年月に日に
 栄いやます横浜の
 地はわが校のたつ処

3. 文化の具象百千の

大船小船住き通う
 跡も心の励たれ
 千古の雪の富士の嶺
 かれも無言の教にて

2. 国を富ましめ世を利する

基工業の華と咲き
 実となる明日のわが理想
 四海のはてを天領と
 見て青春の血こそ湧け

4. 旗に象ぐる波のあと

広き遠きにあこがれて
 自由の翼のせとこそ
 感激長くあ健児
 校のほまれを心せん